

一般質問

和田
議員

○遊休資産化している市有財産に関する民間事業者の活用について

【質】平成15年度に廃止した松浦市総合衛生センターごみ処理場を活用してリサイクル発電事業を展開したいとの民間企業の提案に対し、市の対応を時系列で説明してください。

【地域経済活性化課長】当該事業者と本年4月に面談し、会社概要と事業概要について説明がありました。その後、6月に電話で現地視察の申し出があったため、その用地の今後の活用の可能性及び現地視察の可否について庁内協議を行い、現在の北松北部クリーンセンターが稼働を終了した後の新たな処理施設の建設用地として市が保有しておくべきとの結論になり、当該事業者による結果をお伝えしました。

【質】市長は9月定例会の一般質問の答弁で「民間企業から市有財産利用の申し出があった場合には、市有財産が市民の財産であることを念頭に置いて、事業内容や事業効果、またその土地を市が今後どのように活用しようと考えているか等、総合的に判断して、積極的に利活用を考えたい」と思いますが、市民の皆様の意見も十分に把握しながら対応してまい

ります。」と答えておられます。

市長が行政判断を下される場合に重要なのは説明責任を果たすことであり、そのためには多くの情報が必要で、新たな施設用地としての必要性、それによって生じる解体費用、維持管理費、民間企業の提案事業に関する情報、地域の皆様の意見など、これらの情報を総合的に判断することで市民の皆様への説明責任を果たせると考えます。今回の事業提案については、当該施設の内部も含めて企業側にしっかりと見学していただき、企業側が事業化できると判断すれば、詳細な事業提案を頂き、地元の皆様の意見も取り入れながら、多くの情報、判断材料をもって、当該施設の活用を検討すべきと考えますが、市長の答弁を求めます。

【市長】県は、佐世保県北地区のごみ処理場の広域計画は5施設で終了とのこと、今後は現状の5施設で運営していく方針であります。その場合、15年後に現在の施設を解体、更地に戻すため、新しい候補地が必要になるため、数年後に新しいごみ処理施設の建設方針が決定されるまでの間は、現状のまま保有しておくことが最優先と判断しております。

このほかに、「子育て支援施策に関する民間事業者の活用」、「調川港を中心としたまちづくりの基本構想」、「新たな「まち・ひと・しごと創生総合戦略」」について質問しています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】令和元年度松浦市一般会計補正予算（第5号）（関係係）

補正額4億2835万9000円

が議決され、歳入予算額が219億9130万9000円となりました。

主なものに国や県からの支出金（国や県から松浦市へ支払われる負担金や補助金）として3億503万1000円計上され補正額全体の約71.2%を占めています。主に障害者自立支援給付費負担金の実績見込みによる増額や、令和元年8月豪雨により被災した災害復旧のための国・県からの負担金が計上されたものです。

その他、市税（市民税・固定資産税）の決算見込み額の増として4071万3000円（補正額全体の9.2%）、市債（市の借金）として8180万円（同、19.1%）が計上されています。

【議案】令和元年度松浦市一般会計補正予算（第6号）（関係係）

補正額1028万6000円が議決され、歳入予算額が220億159万5000円となりました。基金（市の積立金）の繰入によるものです。

【議案】松浦市会計年度任用職員報酬等に関する条例の制定について
地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、条例が制定されました。

文教厚生委員会

【議案】令和元年度松浦市一般会計補正予算（第5号）（関係係）

○東京2020オリンピック聖火リレー事業に81万8000円。また、令和2年度支出分として、別途、債務負担行為の計上217万6000円があります。

今年7月24日から開催の東京オリンピックでは、長崎県でも聖火リレーが取り組まれ、5月9日（土）に本市を通過するため、その準備経費等が計上されています。なお、聖火リレーコースは、市役所駐車場から道の駅「海のふるさと館」までの予定で。

【その他】各種パブリックコメントの実施について

○次のパブリックコメントが実施されます。本市の各施策に関する基本的な計画等の策定に当たり、それぞれの原案が公表されています。広く